

## ◆ 平成 29 年度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：埼玉森林インストラクター会

20B-02

代表者：会長 黛 治男

URL : <http://saitamanomori.net/>

### 1. 活動が必要とされた状況

ときがわ町の杉・檜の皆伐跡地（1.4ha 程）は急斜面で、常緑樹（シラカシ、タブノキ、ヤブツバキなど）や灌木が茂った場所、石ころや砂地の露出した場所が多く、大雨による地崩れなどの危険性のある場所であった。この地で常緑樹の伐採、灌木の除伐など地拵えを行い、落葉広葉樹の植樹を 16 年に渡り推進、皆伐跡地は 3 割程度を残すまでとなった。

皆伐による杉・ヒノキの伐採跡地の荒地を、緑豊かな落葉広葉樹を中心とした森づくりにより、環境保全、生物多様性の推進、憩いの場づくりを目指す。

### 2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

昨年までは当会と小学校だけの活動であったが、今後は小学生のみならず地元の住民の参加により「ふるさとの森づくり」の視点で、森林の役割等の啓蒙に努める。

実施時期：平成 30 年 3 月 6 日

参加人数：一般 9 名 小学校 4 名（4 年生）教師 1 名 当

会会員：11 名 計 25 名

活動内容：

- ・杉・檜林の伐採跡地への小学生等の植樹活動。
- ・コナラ、クヌギ、クリ、ヤマツツジ、計 40 本植樹
- ・コナラ、クリ 20 本は獣害防止のネット取付け
- ・イタヤカエデによるメープルシロップ用樹液採取の現場視察
- ・赤外線カメラの撮影の画像（シカ、カモシカ、タヌキ、アナグマ、ハクビシン、イノシシ、アライグマ、ノウサギ、ヤマドリ）の報告



皆伐跡地の状況



除伐作業による植栽地づくり（地拵え）

### 3. 活動の成果

地域の小学生と地元及び近隣の一般参加者による植樹で「ふるさとの森づくり」への貢献と、植樹体験活動や講話、フィールド内の視察等により森林への理解を深めることができた。

### 4. 今後に残された課題

地元の小学校（菟ヶ丘小学校）との連携活動は平成 16 年以來の継続活動である。年々生徒の数が減り、当初は 6 学年 25 名位の参加者があった。最近では 4 年生の活動としているが、今回は 4 名と最低の参加数となった。

他校にも声がけをしたが参加には至らなかった。今後は参加校を増やしていくことが大きな課題。また地元の一般の参加者の増加も活動方針とし、啓蒙活動により森林への理解促進を図っていきたい。



植樹を実施